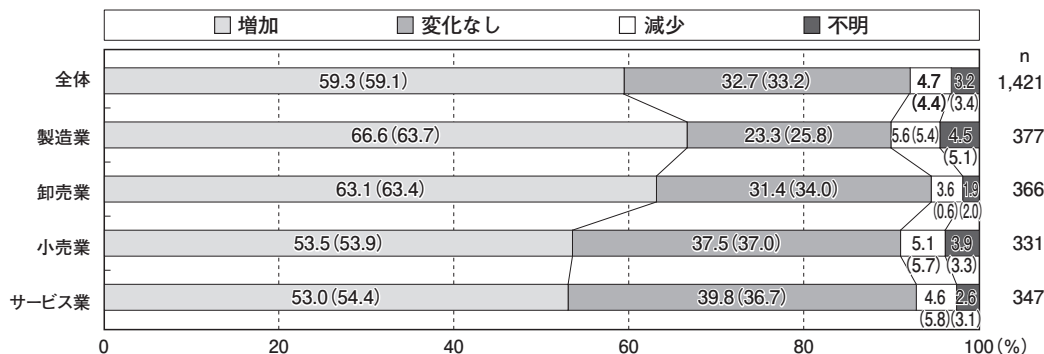


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2026年（令和8年）5月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体で見ると、「増加」が59.3%（前回調査59.1%）と最も高く、「変化なし」が32.7%（同33.2%）、「減少」が4.7%（同4.4%）の順で続いた。

図表5 コストの変化（前年同月比）



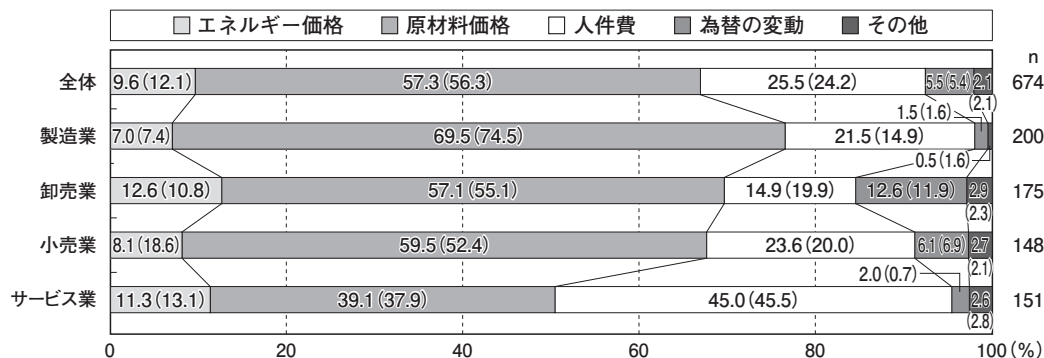
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査（令和8年5月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体で見ると、「原材料価格」が57.3%（前回調査56.3%）と最も高く、「人件費」が25.5%（同24.2%）、「エネルギー価格」が9.6%（同12.1%）、「為替の変動」が5.5%（同5.4%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の69.5%（同74.5%）、卸売業は「エネルギー価格」の12.6%（同10.8%）と「為替の変動」の12.6%（同11.9%）、サービス業は「人件費」の45.0%（同45.5%）がそれぞれ高い。

図表6 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表5）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
()内は前回調査（令和8年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。